

## 第23回「鉄道のある風景写真コンテスト」の開催のご案内

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、写真撮影にあたっては、政府、地方自治体等が示している感染防止対策にご留意いただきますようお願いいたします。
- ・ご応募にあたっては、募集要領をご参照ください。

日本の四季折々の鉄道のある風景等を題材に、昨年は1,070点の応募をいただいた写真コンテストを今年も開催します。**今回は、鉄道開業150周年を記念して、例年のテーマ「鉄道のある風景」に加え、撮影時期を問わない国内の「鉄道」を題材にした思い出の作品も募集します。**

グランプリ受賞作品は、例年、「鉄道の日」(10月14日)を中心に開催されるメインイベントの一つ「鉄道フェスティバル」のオープニングセレモニーで、審査委員長猪井貴志氏(写真家)より作品の紹介と表彰をいただいています。

(※今年度の開催については、決まりしだい鉄道・運輸機構ウェブサイトなどでお知らせします。)

### 記

#### 「第23回鉄道のある風景写真コンテスト」

主催：「鉄道の日」実行委員会

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構(鉄道・運輸機構)

テーマ：A. 日本の四季折々の「鉄道のある風景」を題材とした作品

B. 日本国内で撮影された、「鉄道」を題材とした思い出の作品

受付期間：令和4年7月1日(金)～8月31日(水)(必着)

受賞作品：テーマAの応募作品の中から

グランプリ(国土交通大臣賞)

1点

四季賞 春賞

4点

夏賞

秋賞

冬賞

四季賞の中から、鉄道の日実行委員会会長賞2点、  
鉄道・運輸機構理事長賞1点、  
国土交通省鉄道局長賞1点 を選出

シティ・トレイン・ビュー賞

1点

ジュニア賞(※18歳以下を対象)

1点

入選

数点

テーマBの応募作品の中から

審査委員長特別賞

1点

入選

数点

審査結果発表(予定)：10月上旬鉄道・運輸機構ウェブサイト

添付資料 第23回鉄道のある風景写真コンテスト募集要領

第22回鉄道のある風景写真コンテスト作品集

鉄道・運輸機構公式 Twitter アカウント

<https://twitter.com/JR TT PR>

鉄道・運輸機構ウェブサイトはこちら ⇒



<本件に関するお問い合わせ先>

鉄道・運輸機構 鉄道助成部

特定財源管理課 高橋・鍋釜

TEL 045-222-9133

# 第23回「鉄道のある風景写真コンテスト」募集要領

令和4年5月10日

## 主催者

「鉄道の日」実行委員会  
独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構（鉄道・運輸機構）



## 後援

国土交通省

## テーマ

- A. 日本の四季折々の「鉄道のある風景」を題材とした作品
  - B. 日本国内で撮影された、「鉄道」を題材とした思い出の作品
- ※ 2022年（令和4年）の鉄道開業150周年を記念して、今回は、テーマA「鉄道のある風景」に加え、テーマB「鉄道」を題材にした作品を募集します。

## 応募受付期間

令和4年7月1日（金）～令和4年8月31日（水）必着

## 応募資格

- ・アマチュアの方で、撮影マナーをしっかり守っていただける方ならどなたでも応募できます。

## 応募規格

※応募規格外の写真は、審査の対象外となります。

- ・応募作品は、他のコンテスト等の受賞歴がないのものに限る。（詳細は注意事項①をお読み下さい。）
- ・カラー六切り（ワイド六切り可）、またはA4サイズでプリントアウトしたもの。
- ・額装、合成写真及び組み写真は不可。
- ・テーマAは、概ね3年以内に撮影をしたものに限る。
- ・テーマBは、撮影時期は問いません。
- ・応募点数は、テーマAは一人4点、テーマBは一人2点まで可能。
- ・無人航空機（ドローン等）により撮影した写真は不可。

## 応募方法

- ・応募作品には1点ごとに「作品情報票」を裏面にテープで貼付した上で、「応募票」（送付封筒1通毎に1枚作成）を同封して下記応募先まで送付して下さい。（直接の持ち込みは禁止します。）なお、「作品情報票」及び「応募票」は本要領の最終ページの利用、もしくは鉄道・運輸機構ウェブサイト（<https://www.jrtt.go.jp/>）よりダウンロードして作成して下さい。必要事項について記載があれば自作のものでも構いません。
- ・応募作品が、送付中に作品が折れたり、汚れないようビニール袋に入れる、厚紙に挟む等の包装を推奨します。

## 応募・問い合わせ先

〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー20階  
鉄道・運輸機構 鉄道助成部内 写真コンテスト係  
電話 045-222-9122

## 表彰表

テーマAの応募作品の中から

- |                   |   |
|-------------------|---|
| ・グランプリ 国土交通大臣賞    | 1点  |
| ・四季賞              | 4点  |
| 春賞                | 四季賞の中から、鉄道の日実行委員会会長賞2点、<br>鉄道・運輸機構理事長賞1点、<br>国土交通省鉄道局長賞1点 を選出 |
| 夏賞                |   |
| 秋賞                |   |
| 冬賞                |   |
| ・シティ・トレイン・ビュー賞    | 1点  |
| ・ジュニア賞 (18歳以下を対象) | 1点  |
| ・入選               | 数点  |

テーマBの応募作品の中から

- |           |    |
|-----------|----|
| ・審査委員長特別賞 | 1点 |
| ・入選       | 数点 |

グランプリ受賞者には、賞状、トロフィー、副賞及び記念品を贈呈いたします。

四季賞、シティ・トレイン・ビュー賞及び審査委員長特別賞受賞者には、賞状、副賞及び記念品を贈呈いたします。

ジュニア賞受賞者及び入選者には、賞状及び記念品を贈呈いたします。

## 審査委員

審査委員は、次の方々をお願いします。(敬称略)

- |       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 審査委員長 | 猪井 貴志 (写真家)                     |
| 審査委員  | 竹内 健蔵 (東京女子大学教授)                |
| 審査委員  | 中村 直美 (株式会社交通新聞社 常務取締役第2出版事業部長) |
| 審査委員  | 国土交通省鉄道局長                       |
| 審査委員  | 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構理事長       |

## 審査結果の発表

入賞・入選者へは、鉄道・運輸機構から直接ご連絡するとともに、令和4年10月上旬に、鉄道・運輸機構ウェブサイト (<https://www.jrtt.go.jp/>) にて発表します。

なお、グランプリ受賞者は、例年、10月に東京で行われる「鉄道の日」関連行事(鉄道フェスティバル)の中で表彰式を行っています。今年度の開催については、決まりしだい鉄道・運輸機構ウェブサイトなどでお知らせします。

また、一部の作品は、鉄道・運輸機構の広報印刷物などにも利用する予定です。

## 個人情報の取り扱いについて

作品をご応募の際には、別添の「応募票」「作品情報票」に正確な応募者の個人情報を記入し、主催者に提供いただく必要がありますので、応募者は、自らの意思に基づき個人情報の提供についてご判断ください。なお、必要な個人情報を提供していただけない場合、主催者は当該応募を

受け付けません。

(利用目的)

- ◇ 提供していただく個人情報は、以下の目的に必要な範囲で利用されます。
  - ・ 入賞、入選者への通知
  - ・ 本コンテストの応募作品に関する応募者への問合せ
  - ・ その他、本コンテストの運営上必要な場合
- ◇ 入賞、入選者の氏名、住所（都道府県のみ）は、本コンテスト関係のウェブサイトや印刷物その他で、入賞、入選作品を紹介する際にも掲載されます。

(個人情報の管理)

個人情報の取り扱いについては、関係法令に従い適正に管理します。

## 注意事項

下記の注意事項のほか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、写真撮影にあたっては、政府、地方自治体等が示している感染防止対策にご留意いただきますようお願いいたします。

- ① 応募いただく作品は、他のコンテスト等の受賞歴のない作品で応募者が一切の著作権を有しているものに限り、応募者による同一または類似作品は、規模の大小にかかわらず、他のコンテストなどに応募中または応募予定の場合は応募できません。但し、応募者本人の制作による市販目的のない写真集や本人のウェブサイトに掲載された作品、審査のない写真展に出品した作品は応募可能です。
- ② 応募作品で使用する被写体（人物等）及び著作物等については、被写体および著作権等の権利者から応募者が事前に使用許諾・承認を得た上で応募してください。応募作品に関し、第三者からの権利侵害や損害賠償などの苦情、異議申し立てがあった場合といえども、主催者は一切の責任を負わず、応募者が全て対処するものとします。
- ③ 応募作品に関する著作権は、応募者に帰属するものとします。
- ④ 入選者は主催者に対し、主催者が管理するウェブサイト、展示会、印刷物、宣伝広告物等において、入賞・入選作品を公表、表示、複製、展示、公衆送信（送信可能化を含む）、頒布等し、かつ、それらの全部または一部を第三者に再許諾できる無償の非独占的権利を許諾するものとします。
- ⑤ 主催者は、前項に関連して、入選作品の全部または一部を改変（色合いの変更を含む。）できるものとします。
- ⑥ 入選者は、主催者および主催者から許諾を受けた第三者に対し、著作者人格権を行使しないものとします。
- ⑦ 応募作品は返却いたしませんのでご了承ください。
- ⑧ 入賞・入選内定者は、指定期限内に原版（ネガ・ポジ等）またはデジタルデータを提出していただきます。期限内に提出いただけない場合、入賞・入選の内定を取り消します。なお、原版（ネガ・ポジ等）で提出いただいた場合は、使用後に当該原版を返却いたします。
- ⑨ テーマBは、前項にかかわらず原版またはデジタルデータをお持ちでない場合は、入賞・入選の内定の取り消しをいたしません、応募作品を用いて、展示等に伴う複製を行います。
- ⑩ 応募作品の受領通知は行いませんので、ご了承下さい。
- ⑪ 応募作品（入賞・入選作品に関しては提出いただいた原版及びデジタルデータも含む）の取扱いには十分注意しますが、万一応募作品に関する損失、紛失等の事故（送付中の事故も含む。）が生じた場合であっても責任は負いかねます。
- ⑫ 審査選考に関するお問合せ及びご要望には応じかねます。
- ⑬ 撮影にあたっては、列車往来などに十分注意してください。鉄道用地・私有地への無断の立ち入りや違法駐車、ゴミの投棄などの近隣住民への迷惑行為及び危険行為は絶対に行わないで下さい。これらの行為のうえ撮影されたとされる作品は審査対象外とします。また、撮影に起因する事故やトラブル等については、主催者は一切の責任を負いかねます。
- ⑭ 主催者は、応募者が応募した時点で本募集要領に記載されている諸条件に同意したものとみなします。本募集要領に明記されていない事項については、主催者が最終的な決定権をもつものとします。また、主催者の決定に同意できない場合、応募者は応募を撤回することができますが、応募の撤回にともなう費用は、全て応募者の負担となります。
- ⑮ ご応募が本募集要領に違反すると主催者が判断した場合は失格となります。また、入賞・入選決定後に違反が判明した場合も同様となり、入賞・入選の取消しや副賞等を返還していただく場合があります。この場合の費用は、全て応募者の負担となります。

## 応 募 票 (テーマA)

(ふりがな) 氏名	( 歳) ※1 男 ・ 女
住所	〒 -
連絡先	自宅電話番号： 携帯電話番号： E-mail：
作品タイトル※2	1. 3. 2. 4.
コンテスト応募の きっかけ ※ 該当項目を○で囲んで下さい。	a) 鉄道雑誌 (雑誌名： ) b) カメラ雑誌 (雑誌名： ) c) 新聞 (雑誌名： ) d) 鉄道車内広告、広報誌等 (鉄道会社： ) e) インターネット (ウェブサイト： ) f) 家族・友人の薦め g) これまでに応募したことがある ( 回目) h) その他 (具体的に： )

※1 応募時点での年齢をご記入ください。

※2 応募者が今回のコンテストに応募した「全ての作品」のタイトルを1.～4.にご記入ください(順不同)。

## 応 募 票 (テーマB)

(ふりがな) 氏名	( 歳) ※1 男 ・ 女
住所	〒 -
連絡先	自宅電話番号： 携帯電話番号： E-mail :
作品タイトル※2	1. 2.
コンテスト応募の きっかけ ※ 該当項目を○で囲んで下さい。	a) 鉄道雑誌 (雑誌名： ) b) カメラ雑誌 (雑誌名： ) c) 新聞 (雑誌名： ) d) 鉄道車内広告、広報誌等 (鉄道会社： ) e) インターネット (ウェブサイト： ) f) 家族・友人の薦め g) これまでに応募したことがある ( 回目) h) その他 (具体的に： )

※1 応募時点での年齢をご記入ください。

※2 応募者が今回のコンテストに応募した「全ての作品」のタイトルを1.～4.にご記入ください(順不同)。

## 作 品 情 報 票

【それぞれの作品裏面に貼付】

(ふりがな) 氏 名	( 歳) ※1 男 ・ 女
(ふりがな) 作品タイトル	
撮影日時等	年 月 日 時頃 ( 春 ・ 夏 ・ 秋 ・ 冬 ) ※2
撮影場所	鉄道会社名 ※3 ..... ( ..... 線 間)
撮影コメント※3 (撮影時の状況や狙い、 感想、エピソード等)	
カメラ種別※4 カメラ機種 レンズ	種 別：フィルム・デジタル・その他 ( ..... ) 機 種： レンズ：
撮影データ※3 (絞り・シャッター速度等)	
本コンテストへの 応募回数	回 目
写真撮影歴※3	約 ..... 年

- ※1 応募時点での年齢をご記入ください。
- ※2 応募作品について、応募者が該当すると感じている季節を○で囲んでください。
- ※3 可能な範囲でご記入ください。
- ※4 該当する種別を○で囲んでください。



## 第22回

# 鉄道のある風景写真コンテスト 作品集

コロナ禍になって、2年目。今なおその猛威に苦しめられ、我慢の日々が続いています。しかし、暗いニュースばかりではありません。来年は、鉄道開業 150 周年記念の年なのです。

1872年（明治5年）10月14日、新橋駅～横浜駅間が正式開業したのです。汽笛一声新橋を・・・と1号機関車に牽引されて出発してから150年。今日まで車両も進化し続けています。蒸気機関車から電気機関車・ディーゼル機関車・電車と、そして1964年（昭和39年）10月1日、東京オリンピック開催に合わせて「夢の超特急」東海道新幹線が開業しました。「速い」、「安全」、「正確」そして「快適」をモットーに鉄道は進化し続けています。近い明日には、リニアモーターにも乗れるのです。

来年は、鉄道開業 150 年を祈念した「鉄道のある風景写真」を企画したいですね。

一日も早く「コロナウイルス」という文字が消える日を祈っています。

写真家 猪井 貴志

### グランプリ 国土交通大臣賞 川西 康之(東京都)



#### 『2回目の春』

(えちごトキめき鉄道 妙高山麓がいちばん輝く春の風景を、少々空いた電車の車窓から眺めました。)

撮影者のコメント

娘が生まれて2回目の春、妙高山麓がいちばん輝く春の風景を、少々空いた電車の車窓から眺めました。ちょっと心が贅沢になる素晴らしい車窓でした。私は写真のプロではなく、いつもの近所の公園のように、手持ちのスマートフォンで娘を撮影しました。

## 総評

コロナ禍の中、第22回「鉄道のある風景写真コンテスト」に例年と変わらぬ応募が寄せられました。皆様の元気な姿を拝見させていただいたようで、審査員一同喜びを隠せませんでした。

まだまだ、自由に撮影に出かけることのできない我慢の日々が続きますが、ここはもうひと踏ん張りして、来る日のために準備しておきましょう。

今もデジタルカメラはますます進化し続けています。朝・昼・晩と時間を選ばず撮影可能なのは当たり前になり、これまでの「鉄道のある風景写真コンテスト」にも多くの絶妙な時間帯の作品が応募され入選してきました。

撮影したい場所に思いを馳せ撮影計画を立てる時、もう一度基本である5W1H(いつ・どこで・だれと・なにを・なんの目的で・どのように)を思い出してください。そして今や、撮影者には欠かせないいろいろなアプリを最大限に利用して、列車の通過時間に合わせ、自身の思い描くシチュエーションにジャストマッチさせましょう。決まった時のその喜びは皆さんが一番よく知っているはずですから。

一日も早くその日が訪れるのを祈っております。

第22回「鉄道のある風景写真コンテスト」グランプリを射止めたのは川西康之さんの作品「2回目の春」。久しぶりのお出かけなのでしょうか、車窓いっぱいに広がる雄大な風景をまさにひとりじめしている可愛い女の子の姿には、気持ちが癒されます。コロナ禍の長いトンネルを抜け出したような爽快な作品になりました。

写真家 猪井 貴志

### 春賞（「鉄道の日」実行委員会会長賞）

宇佐美 公男(香川県)



#### 『雨上がり』

(四国旅客鉄道 予土線 西ヶ方駅～真土駅)

撮影者のコメント

山桜も終わりの時期で撮影。生憎の雨。

### 夏賞（鉄道・運輸機構理事長賞）

遠藤 里美(静岡県)



#### 『窓辺の風景』

(東海旅客鉄道 身延線 入山瀬駅～豎堀駅)

撮影者のコメント

自宅2階から撮影。車両を引き立てる群青の富士と様々な雲。緊張の中、シャッターを切りました。

### 秋賞（「鉄道の日」実行委員会会長賞）

明野 敏行(兵庫県)



#### 『紅葉がお出迎え』

(北条鉄道 北条線 播磨下里駅～法華口駅)

撮影者のコメント

紅葉が美しい神社の鳥居に列車を入れました。

### 冬賞（国土交通省鉄道局長賞）

岡本 一晃(新潟県)



#### 『霧氷の朝』

(しなの鉄道 北しなの線 黒姫駅～古間駅)

撮影者のコメント

朝焼けの妙高山と列車を撮った後の撮影地でした。稀に見る霧氷の美しさに感動を覚えました。列車にピントを合わせつつ、背景の黒姫山と霧氷の樹木をパンフォーカスで狙いました。



シティ・トレイン・ビュー賞 外岡 宏(千葉県)



『2021年7月23日』

(東日本旅客鉄道 京浜東北線 東京駅～神田駅)

撮影者のコメント

東京オリンピックと鉄道をどの様に表現するか。天候・情報・場所を熟考した結果、ぶっつけ本番でこの場所を見立てましたが、何とか収める事が出来ました。

入選 成田 清一(青森県)



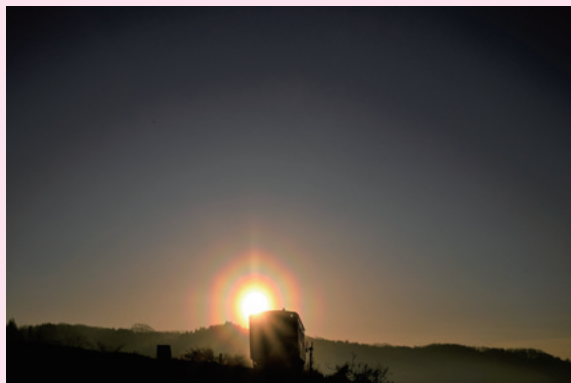
『無人駅のアート』

(弘南鉄道 黒石駅 田舎館駅)

撮影者のコメント

小さな構内は、モノトーンのイラストで埋め尽くされ、撮影ポイントの決め手に少し苦労しました。この駅を利用する地域の子どもたちやお年寄りの安全をたくさんの目で見守りたいという思いをアートとして描かれているのがとても印象的でした。

入選 塩野 いくお(栃木県)



『光環』

(東日本旅客鉄道 烏山線 小埴駅～滝駅)

撮影者のコメント

この日は澄んだ朝空でしたが、出てきた太陽が変わった感じでしたので、アキュムとからめて撮影しました。

ジュニア賞 内藤 拓海(東京都)



『一夜限りの賑わい』

(東日本旅客鉄道 信越線 横川駅)

撮影者のコメント

かつての信越本線の賑わいを一夜限りの臨時列車が取り戻した様子を撮影しました。

入選 志田 幸夫(新潟県)



『早朝列車が目覚めのベル』

(東日本旅客鉄道 只見線 越後須原駅)

撮影者のコメント

県内の今年の冬は年末年始から大雪となり、2月の前半まで降り続き、この地も3メートルを越え、只見線も除雪作業が追いつかず度々運休となる。線路の両脇は除雪した雪壁が続く。ようやく雪も峠越えて早朝始発駅へ向う回走列車が須原駅を通過。地域住民の足として走り続けている。

入選 石井 道之(新潟県)



『只見の美しい春』

(東日本旅客鉄道 只見線 早戸駅～会津水沼駅)

撮影者のコメント

新緑菜の花が眩しく、美しい春の風景をハイキーに仕上げました。

## 入選 荒木 貴啓(兵庫県)



### 『里の休息』

(西日本旅客鉄道 津山線 牧山駅～野々口駅)

撮影者のコメント

冬の田畑は、茶色一色で時間が止まっているような感じがして、まるで里全体が休んでいるかのように見えました。

## 入選 横井 規和(神奈川県)



### 『ダイヤモンド富士』

(京浜急行電鉄 本線 屏風ヶ浦駅～上大岡駅)

撮影者のコメント

富士山と京急を一緒に撮影できるポイントで、よく撮りに行くのですが、ダイヤモンド富士は初めてでした。

## 入選 服部 浩樹(東京都)



### 『厳冬の汽笛』

(北海道旅客鉄道 根室本線 釧路駅～東釧路駅)

撮影者のコメント

氷点下18度まで冷え切った快晴の朝、釧路川は狙い通り見事な氷花で埋め尽くされていた。舞台は全て整った。あとは煙が客車の上に棚引くことを祈るのみ。11時05分、釧路発車の汽笛が鳴り、いざ勝負。

(敬称は略させていただきました)

## 第22回 鉄道のある風景写真コンテストの概要

主催 「鉄道の日」実行委員会／鉄道・運輸機構  
後援 国土交通省  
募集期間 令和3年7月1日(木)～令和3年8月31日(火)  
審査 令和3年9月3日(金)午後 鉄道・運輸機構にて開催  
応募数 1,070点 (応募者数：383名)

写真の審査は、次の方々をお願いいたしました。(敬称略)

審査委員長	写真家	猪井 貴志
審査委員	㈱交通新聞社常務取締役第2出版事業部長	中村 直美
	東京女子大学教授	竹内 健蔵
	国土交通省鉄道局長	上原 淳
	鉄道・運輸機構理事長	河内 隆

### 入賞・入選 作品の展示

令和3年10月18日(月)～28日(木)  
令和3年11月3日(水)  
令和3年11月8日(月)～16日(火)  
令和3年11月19日(金)～25日(木)  
令和3年12月1日(水)～7日(火)  
令和3年12月13日(月)～20日(月)  
令和4年1月6日(木)～17日(月)

高知市役所(とさでん交通)  
高松琴平電気鉄道 仏生山駅  
つくばエクスプレス 浅草駅  
神戸電鉄 谷上駅  
京都市交通局 烏丸御池駅  
京阪電気鉄道 中之島駅  
近畿日本鉄道 桑名駅

第23回は、令和4年春に募集案内を告知する予定です。  
応募要領は、鉄道・運輸機構のウェブサイトをご覧ください。



明日を担う交通ネットワークづくりに貢献します。

# 鉄道・運輸機構

Japan Railway Construction, Transport and Technology Agency

〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1 (横浜アイランドタワー)

TEL 045 (222) 9100 (代表)

URL <https://www.jrnt.go.jp/>